

# 令和 2（2020）年度ズワイガニ北海道西部系群の 管理基準値等に関する研究機関会議提案

国立研究開発法人水産研究・教育機構、並びに共同実施機関は、令和 2（2020）年度ズワイガニ北海道西部系群の管理基準値等に関する研究機関会議において、令和 2 年度資源評価に必要な科学的パラメータについて議論し、以下の点を提案する。

## 適用する管理規則

現時点では「令和 2（2020）年度 漁獲管理規則および ABC 算定のための基本指針（FRA-SA2020-ABCWG01-01）」に基づく漁獲管理規則を適用しない。

## 目標および限界水準

- ・目標水準および限界水準について、参考資料としてのみ示す。

## その他

- ・本資源では、資源全体の動向を反映した指標値として十分な精度を有する資源量指標値が得られていないため、現時点では基本指針に基づく 2 系資源の管理規則を提案しない。
- ・現在の漁獲は、主対象種であるベニズワイガニの漁獲に付随したものに過ぎず、今後、大きく抑制されている現状の漁獲努力量が増大する懸念が少ないこと、および現状の資源状況も CPUE の変動は認められるものの大きな変化は認められないことから、本資源の漁獲管理としては、平成 19 年度から用いている漁獲上限（43 トン）の継続を提案する。